

第 99 期  
株 主 通 信  
(中間報告書)

2022年 3 月 1 日から

2022年 8 月31日まで



株 式 会 社 歌 舞 伎 座

証券コード：9661

## 株主のみなさまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当期（2022年6月公演分）より観劇優待を再開させていただきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による公演中止、またその振替ができない状況が続き、株主の皆様にはご心配ご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。

未だ感染症収束まで時間を要しており、当社グループへの影響も続いておりますが、これまでに培ってきた様々な経験を踏まえ、コロナ禍においても安全で快適な劇場環境を提供しながら、業績向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年11月

## 上半期の事業概況

この上半期も、劇場歌舞伎座では徹底した感染予防対策が継続され、客席・ロビーでの飲食禁止は続いたものの、8月からは花道横並びに幕見席を除く全座席での観劇が可能となり、来場者数も徐々に回復し、当社グループを取り巻く環境も、ようやく持ち直しの兆しが見えてまいりました。

当社グループにおいては、安全・安心を最優先に、適切な感染予防対策を講じながら各事業の運営に取り組んでまいりましたが、7月から8月にかけての新型コロナ「第7波」による休演の影響は大きく、特に食堂・飲食事業、売店事業において厳しい状況が続きました。

以上の結果、第99期第2四半期連結累計期間（2022年3月1日から2022年8月31日まで）の当社グループ売上高は1,243百万円、営業損失は43百万円、経常損失は23百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は54百万円となりました。

## 事業別概況

### <不動産賃貸事業>

歌舞伎公演が年間を通して毎月上演されるようになり、客席制限も段階的に緩和されたことを受け、GINZA KABUKIZA全体の集客も増加傾向に転じ、施設内の外部テナントも徐々に業績の回復が見られるようになってきました。

一方、劇場内のショーウィンドウでは企業の広告宣伝費削減傾向の影響や、一部のテナント退去・入替わりもあり、当社の収益に少なからず影響が生じております。

当社グループの新たな取り組みとして、地域一体となった東銀座の価値向上を目的とした「東銀座まちづくり協議会」「東銀座エリアマネジメント」に参画し、東銀座エリアの美化活動や街の魅力を情報発信するなどの活動にも積極的に参加いたしました。

施設面では、建物保全計画のもと、整備や設備更新を実施してまいりましたが、来年3月に竣工から10年を迎えるにあたり、空調関連や衛生設備のポンプ類、運転監視盤など、更新時期が到来する設備も多く、引き続き安全面を最優先に、メンテナンスや機器更新を計画的に実施してまいります。

以上の結果、当上半期の売上高は930百万円となり、営業利益は324百万円となりました。

### <食堂・飲食事業>

劇場内の食堂・飲食事業では、コロナ禍の長期化に伴うお客様の減少と、感染拡大防止対策による客席での飲食禁止、各階ドリンクコーナーでの必要最小限の飲料と飴のみの販売という厳しい制約付きの営業活動が続きました。

そのような中、3階のお食事処「花籠」は、来年のオープン10周年も視野に入れ、テーブルと椅子を取り替え、一段と落ち着きのあるクラシカルな雰囲気のリニューアルいたしました。また、舞台出演者監修のメニューや、演目に因んだお食事を用意し集客に努めるとともに、外部からのお客様が利用できるアフタヌーンティーや、お食事時間以外の有効活用としての各種セミナー、トークショー、「江戸落語を食べる会」などを積極的に企画、実施いたしました。コロナ禍以前の売上には回復せず、結果は厳しいものとなりました。

一方、2階のお食事処「鳳」では軽食、コーヒー、ソフトドリンクの営業を再開し、1階喫

茶室「檜」ではメニューやサービスに工夫を凝らすことで外部からのお客様も増え、売上は増加傾向となりました。

隣接する松竹倶楽部ビル3階の日本料理「ほうおう」では、リーズナブルな日替わりランチ営業を再開し、常連のお客様も増えてまいりました。

なお、従前より団体のお客様向けにお弁当の配達やケータリングサービスを提供しておりますが、未だ以前の受注件数には戻らず厳しい状況が続きました。

以上の結果、当事業の当上半期の売上高は132百万円となり、営業損失は64百万円となりました。

### <売店事業>

売店事業も長引くコロナの影響により不本意な営業結果となりました。劇場内1階のお土産処「木挽町」では外部からも入場できる強みを生かし、歌舞伎関連のみならず、歌舞伎座でしか買えない出演者や演目関連の商品や食品をバラエティー豊かに取り揃えることで、売上増大に努めました。しかしながら、コロナ禍の感染状況やお客様の入場制限も相まって売上高は厳しいものとなりました。

木挽町広場では【全国歌舞伎巡業地方物産展】として「関東甲信越地方物産展」「北陸地方物産展」「沖縄地方物産展」などが好評を博した他、苔玉盆栽の展示即売会や、邦楽・洋楽の新古、中古CD・DVD・レコードなどの販売会、イベントを数多く開催し、幅広い年代のお客様にご来店いただきました。

また、舞台写真販売は店舗、インターネットショップ「かおみせ」ともに根強い固定客もあり、従来通りの売上を堅持いたしました。

さらに外販事業にも注力し、百貨店、大規模商業施設への出店、商品販売など積極的に展開いたしました。

以上の結果、当事業の当上半期の売上高は180百万円となり、営業損失は37百万円となりました。

今後、新しい生活様式の中で益々重要度を増すインターネットショップでの販売では、魅力ある品揃えに加え、お客様がご利用しやすいホームページとなるよう改善を加え、収益拡大に取り組んでまいります。

# 連結財務諸表 (要旨)

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年8月31日)	科 目	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	1,514,561	1,589,667	流動負債	687,413	801,292
固定資産	23,533,640	23,465,879	固定負債	13,281,884	13,181,138
有形固定資産	14,482,393	14,266,595	負債合計	13,969,297	13,982,430
無形固定資産	2,629,145	2,627,526	純資産の部		
投資その他の資産	6,422,101	6,571,757	株主資本	9,095,089	8,980,016
			その他の包括利益累計額	1,983,815	2,093,099
資産合計	25,048,201	25,055,546	純資産合計	11,078,904	11,073,116
			負債純資産合計	25,048,201	25,055,546

## 連結損益計算書

(単位：千円)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2021年3月1日 至 2021年8月31日	当第2四半期 連結累計期間 自 2022年3月1日 至 2022年8月31日	科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2021年3月1日 至 2021年8月31日	当第2四半期 連結累計期間 自 2022年3月1日 至 2022年8月31日
売上高	1,207,834	1,243,256	営業活動によるキャッシュ・フロー	138,170	123,983
売上原価	984,946	1,004,488	投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,084	△11,929
売上総利益	222,888	238,768	財務活動によるキャッシュ・フロー	24,745	△59,698
販売費及び一般管理費	276,131	282,503	現金及び現金同等物の増減額	159,831	52,355
営業損失(△)	△53,243	△43,734	現金及び現金同等物の期首残高	1,269,995	1,412,470
営業外収益	11,170	20,841	現金及び現金同等物の四半期末残高	1,429,827	1,464,825
営業外費用	1,302	337			
経常損失(△)	△43,375	△23,230			
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,375	△23,230			
法人税等合計	46,108	31,069			
四半期純損失(△)	△89,484	△54,299			
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,484	△54,299			

## 会社情報 (2022年8月31日現在)

商号	株式会社歌舞伎座
設立	1949年11月
資本金	2,365,180,000円
発行済株式総数	12,170,000株
株主数	5,675名
公告掲載URL (プレス等開示情報)	<a href="https://www.kabuki-za.co.jp/annai">https://www.kabuki-za.co.jp/annai</a> (ただし、電子公告ができない事由が生じたときは、官報にて行います)
事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	定時株主総会の議決権、期末配当：2月末日 (中間配当を実施するときは8月31日)
株主名簿管理人 同 連絡先	みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く 9:00~17:00
役員	取締役会長 大谷信義 代表取締役社長 安孫子正 取締役 山内貴美子 木川正彦 田中智明 小平健 (社外取締役) 松平誠 (社外取締役) 尾崎啓成 (社外取締役) 武藤寛征 (社外取締役) 常勤監査役 安形泰介 (社外監査役) 監査役 大谷二郎 井ノ上正男 (社外監査役) 稲垣文美 (社外監査役)

# 株主優待のご案内

## 優待内容

劇場歌舞伎座の観劇ご招待（1・2階席）
---------------------

## 株主優待基準日・期間

株主優待基準日	優待対象期間
毎年2月末日	6月公演～11月公演分
毎年8月31日	12月公演～翌年5月公演分

## 優待基準

所有株式数	6ヶ月間優待枚数
150株～	1枚
450株～	3枚
750株～	3枚
1,000株～	4枚
1,500株～	6枚
2,000株～	8枚
3,000株～	12枚
5,000株～	18枚

} 「150株～、450株～」は年間枚数となります

## ※ 2022年8月期における観劇優待について（150株以上ご所有の株主様）

誠に申し訳ございませんが、2022年12月公演はご優待対象外となります。  
また、公演が中止となった場合、原則として振替を実施いたしかねますことを  
何卒ご理解ご了承賜りますようお願い申し上げます。



株式会社歌舞伎座

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目12番15号

電話 (03) 3544-1075

UD  
FONT